

翔鸞幼稚園だより

令和4年12月1日 京都市立翔鸞幼稚園 園長 村山 得太郎



感染症に注意！

寒暖を繰り返しながら、だんだんと気温が低くなり、冬の訪れを感じるようになってきました。体調を崩しやすい時期



ですので、健康管理には十分ご留意してください。また、新型コロナウイルス感染症も第8波の到来ということで、流行が始まっているようです。そして、2年間はほとんど流行していなかったインフルエンザの流行も心配されています。感染症対策は今までと変わりありません。「早寝早起き朝ごはん」など基本的な生活習慣を整える事、マスク着用、手洗い、うがい、消毒などです。自分で自分のからだを守るよう大人も子どもも意識していきましょう。

ワールドカップより学ぶ

サッカーのワールドカップがカタールで行われています。日本は現在1勝1敗でグループ2位という成績です。強豪に勝って波に乗るはずが、2戦目は手痛い敗戦となり、次の試合に決勝T進出をかけることになりました。勝った試合の後で、解説者の方が「この大きな1勝はこれまでの積み重ねです。それも、垂直に積んだものではなく、底辺の広いピラミッド型の積み重ねです。」ということをおっしゃいました。何かを成し遂げたときに自分たちの力だけではなく、その何倍もの人たちの支えや声援がある、ということです。『なるほど!』と思いました。大会に参加できたメンバーを頂点とし、



直前で選ばれなかったメンバーや多くのスタッフ、サポーターや日本からの声援など、本当に多くの力に支えられての勝利だったと思います。話は違いかもかもしれませんが、そら組の今月のおたよりも感動しました。本当に良く成長して素晴らしい子どもたちだなあ、と思いました。そら組の子どもたちは3年間で担任の先生が毎年変わりました。でも、担任間のチームワークがよく、サポートする他の教職員も含めて、子どもへの関わり方や保育の方針を共有して子どもの成長のためにはどのような援助が必要か常に考えていたことが良かったのだと思います。そして、何より子どもたちの安定した様子は温かい家庭生活があればこそだと思っています。幼稚園で子どもたちがのびのび遊べるのも保護者のみなさんが子どもたちをのびのびと育てておられるからだと思っています。子どもを頂点にして、家族や保護者同士のつながり、教職員の団結でピラミッドができています。そら組さんはあと4ヶ月の幼稚園生活です。小学校入学に向けて今後も成長が楽しみです。



さて、次の試合で負けてしまった日本ですが、選手たちや監督は精一杯頑張っていたと思います。しかし、負けた瞬間から選手や監督への誹謗中傷がSNS上で広がっていたようで、とても残念な気持ちになりました。中には人を傷つけるような表現もあったようです。12月は人権月間です。誰もが他の人をリスペクトするやさしい社会を皆さんで作っていくため、何ができるか考えていきましょう。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう!

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう!

